

将来の農業の進むべき方向をどのように考えているか

市民会議21 増田淳一郎

問 農業は、食の原点であると同時に、緑を守ることで二酸化炭素を減少させ、人の心に安定と豊かさをもたらす職業であると思う。(仮称)綾瀬インターチェンジの設置が見込まれる中、本市の農業は、都市型農業へと変化しつつある。将来の農業の進むべき方向をどのように考えているか

か。「新時代 あやせプラン21」の後期基本計画案で、大型直売所の設置が計画されているが、用地や補助金など、市はどのようにかわかっていくのか。また、他市では企業と提携して特産品の開発などを行っている。本市も企業と提携し、畜産品を利用した新たな特産品の研究を行わないか。

答 市では、農業者が自立できる農業を確立し、消費者が重要であり、これに併せて、工業系の土地活用が検討されている。財源確保や雇用促進につなげるためにも、積極的な事業展開が必要と考えるが、市の取り組みは。

まちを元気にする産業活性化に向けた市の取り組みは

改綾クラブ 綱嶋 洋一

問 少子高齢化の進展は、社会を経済的に支える年代の減少など、経済やまちづくりに大きな影響を及ぼす。市としてしっかりとした産業振興策が重要だが、現在策定中の産業振興マスタープランはどのような方向で施策を進める考えか。また、県央に位置する本市の特色を生かしたまちづくりを進めるには、(仮称)綾瀬インターチェンジの活用

が重要であり、これに併せて、工業系の土地活用が検討されている。財源確保や雇用促進につなげるためにも、積極的な事業展開が必要と考えるが、市の取り組みは。



7月1日から7日まで「平和展」が開かれ、被爆された佐々木禎子さんの一生を中心に戦時中の生活などをまとめた「サダコと折り鶴ポスター」のほか、軍服など65年以上前の貴重な品々が展示されました(市役所7階市民展示ホールにて)

3人乗り自転車助成制度の早期実施と積極的なPRを

日本共産党 松本 春男

問 昨年12月定例会での「3人乗り自転車へ助成制度を」の一般質問に対し、市長は、ニーズを把握するため、アンケート調査などを実施したいと述べた。ほかの自治体の駅前駐輪場を見ると、確実に3人乗り自転車が増えているが、アンケート調査の結果と分析はどうか。助成制度の早

急な実施を望むが、実施する場合、子育て支援と安全の両面からPRすることが必要であると思うので、多くの来場者がある「いきいき祭り」などでPRの場を設けないか。また、内容の検討やPR期間を含めて、想定している実施時期としてはいつごろか。

答 3人乗り自転車のニーズを把握するため、保育園就園児童の保護者などに調査を

綾瀬スポーツ公園の進ちよくと今後の環境整備方針は

公明党 出口けい子

問 綾瀬スポーツ公園は、健康スポーツ施設として整備が進められ、多目的広場と野球場が供用開始された。市民のスポーツ熱の高まりが期待されるが、現在の進ちよく状況はどうか。利用者の利便性向上のため、市役所からのバス路線の確保や隣接する県道の歩道等の環境整備が必要と考えるがどうか。また、蓼川の玄正橋上流にサイクリングロードを整備し、公園と一体化して利用できるようにする考えはないか。この公園は大和市分と一体で整備しているが、施設利用に際し、従来どおり市内登録団体が優先予約できるようにすべきと思うが。

答 平成21年度末現在、多目的広場や野球場など約49%が完成しており、26年度完成に向けて順調に整備を進めている。バス路線は2系統が運行されているが、多くの市民が利用できるよう、市役所経由のルートへの変更を事業者に要望していく。歩道整備は、公園利用者の安全確保のため、早期整備を県に要望していく。また、サイクリングロードは、県の河川改修事業の管理通路を利用して整備しており、将来、玄正橋上流も改修終了後、整備していきたい。施設利用に関しては、市内登録団体は、従来同様1カ月早く優先予約が可能である。(ほかに「婚活」について「教育行政について」を質問)

議会用語のミニ知識

「表決」

表決とは、議会の意思決定に議員が参加するための手段で、賛成、反対の意思表示をすることをいいます。

このように、議長が表決をとることを「採決」といい、表決の結果得られた議会の意思決定(例えば可決、否決、同意など)を「議決」といいます。したがって、表決は、議会の審議過程における最終手続になります。

表決の方法には、大別すると議長が議題に関して賛成する者を起立させ、その多少を認定して行う「起立表決」と起立者の多少を認定しがたい場合に行う「投票による表決」、議長が異議の有無を諮る「簡易表決」の3つがあります。本市議会においては、通常「起立表決」と「簡易表決」が多く用いられています。

